

学科近況

元号が令和に変わったのも束の間、令和元年ももうすぐ終わろうとしています。4月に入学した1年生は9ヶ月ですっかり「高専生」になりました。2年生は自分の得意なことやりたいことを伸ばし始めています。3年生は研修旅行で企業見学をし、社会への見聞を広げました。4年生はインターンシップを経験し自分の将来の進路を真剣に模索しています。5年生は卒業を間近に控え新たな進路への期待に満ちています。専攻科生はより専門性を高め本科のときとは見違える成長をしています。

今後ともメディア情報工学科の教育、学生指導に対しご理解を頂くとともにご指導ご鞭撻をよろしくお祈りいたします。

(学科長：正木 忠勝)

各学年の話題（1年生）

長い夏休みを終え、つい先日、後学期が始まったばかりと思っていましたが、それから早いもので3ヶ月近くが経とうとしています。この間には様々なことがありました。

10月には、本校関係者のみならず、学外の方々にも大いに楽しんで頂いた高専祭が「高専らしくをあたらしく」というテーマのもと、10月26日（土）と27日（日）に開催されました。2年生までは混合学級のため、基本的に学科別での企画は無く、すべてクラス単位での出し物、例えば、1組と4組は屋台、2組はおばけ屋敷、そして3組はキャラクターハンティングなど、色々なことにチャレンジしていました。初めての学生主催行事で戸惑うことなどがあったかと思いますが、各クラスがそれぞれ一丸となって頑張ってくれたお陰で高専祭は大盛況となりました。

寒さが増してきた11月下旬には後学期最初の関門である中間試験が行われました。前学期に1度は経験済みであると云っても、まだ慣れているとは云えない1年生たちに対して、前学期と同様に1年生たちを支援するための後学期中間試験対策講座を試験前の11月13～15日にかけて開催しました。対策講座当日は会場となった講義室が1年生で満杯となり、それでもまだ参加希望者がい

たため、急遽、廊下に机と椅子を用意して受講してもらったほど多くの学生たちが集まってくれました。これらの学生たちの様々な科目における苦手箇所の解消に役立ててもらえたのではないかと思います。

冬休み前の最終講義日は12月20日（金）です。22日（日）には閉寮となり令和2年1月5日（日）までが冬休み期間となります。保護者の皆様におかれましては、是非、この機会に学生の将来の夢や進路について、お話しを聞いて頂けますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。



1年生対象キャリア講演会の様子

(1年学科担任：佐藤 尚)

各学年の話題（2年生）

2 学年の後半ともなると、多くの学生が学校に慣れ、ますます自由な雰囲気です学校生活を送っているように見えます。しかし、本校では高校にはない学校生活の楽しさがあると同時に、学習面での悩みが年々増してくることも確かです。大学等で専門的・応用的な知識・技術を学ぶ準備として後期中等教育の課程でみっちり基礎固めをする3年間を前倒しにして、中学卒業後にいきなり高等教育の課程に飛び込むということは、冒険的と言える大いなる跳躍なのかもしれません。専門的・応用的な内容に進むための基礎となる力を身につけるためには地道で膨大な努力が必要であり、一足飛びに到達できるものではありません。中学校卒業生を受け入れる高専における指導は、できるかぎり学生それぞれの能力に応じ、「できない」を突き付けるだけではなく、本人の今持てる力を認識させ、目標達成に向けて何をすればよいかを具体的に示し、本人の努力を引き出し得るものとなるようにすべきであると考えます。本校の学生はすべて、学生が本校を選んだのみならず、選抜によって本校を選んだ人々なので、すべての学生が本校において将来への希望を持てるように指導・支援することは学校の当然の責務です。

学生のこと、学校のことについて、ご不明のこと、お困りのことがありましたら、どのようなことでも、私を含め、ご自身が相談しやすいと思う本校窓口あるいはスタッフにお知らせください。

（2年学科担任：西村 篤）

各学年の話題（3年生）

後学期に入り、専門学科のメンバとしてのクラスとなってからだいぶ落ち着いた雰囲気となりました。3年生は12月3日（火）から6日（金）の3泊4日の日程で、東京への研修旅行に参加しました。滞在中は、合同会社 DMM.com、ピクシブ株式会社、アスクル株式会社、エキサイト株式会社、チームラボ株式会社、日本科学未来館への企業見学を実施しました。学生たちはそれぞれの企業の担当者からの説明を熱心に聞き、卒業生と

の座談会や施設の見学など、盛り沢山の内容に様々な事を吸収できた貴重な経験となったことと思います。また、2日目の夜には、企業への就職や、大学や大学院に進学して活躍している13名の本学科卒業生の皆さんとの、夕食を食べながらの懇親会を催しました。学生たちにとっては、卒業生という最も親近感のある頼れる存在の先輩から、学生生活の悩み、就活や進学のアドバイス、社会人としての苦労や楽しみなどを直に話を聞くことができ、会場使用制限時間いっぱいを使って大盛況で終わることができました。3日目の自由行動の日には、気の合う仲間のグループ単位で、予め準備して練った行動計画に従い、企業見学や観光、ショッピングや食べ物など思い思いの1日を満喫しました。目的地までの経路や所要時間など、自らの力で計画を立て、実際に状況に応じて行動する力は、いずれインターンシップや就職・進学活動時に何かしらの経験値として活かされるものと期待します。



合同会社 DMM.com での集合写真



アスクル株式会社での社員との座談会

（3年学科担任：鈴木 大作）

各学年の話題（4年生）

企業の採用活動はさらに早期化しております。3月になってから動き出すのではなく、早期から企業研究や自己分析などの準備をしっかりと行っておく必要があります。就職活動では、学校で学んだ専門知識や学習習慣はもちろんですが、積極的に自ら行動する主体性が求められます。ご家庭に置かれましても就職活動の雰囲気づくりにご協力いただければと思います。

学生生活の様子としましては、10月に開催された高専祭では、4年生は映像作品を2つ展示しました。クラス全員で協力して撮影を行っていました。また、5年次に行われる卒業研究の研究室配属も始まっています。卒業研究は沖縄高専で5年間学んだことの集大成となります。積極的に取り組み、研究を楽しんでほしいと思います。

前回の学科だよりも書かせていただきましたが、保護者の皆さまも是非お時間を作ってください、就職・進学について話し合ってくださいよう、改めてよろしくお願い申し上げます。

（4年学科担任：當間 栄作）

インターンシップの話題（4年生）

沖縄高専では4年生を対象とする必修科目「インターンシップ」を実施し、これまでの学校生活で学んだ理論や考え方を実際の社会において実践することにより社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

今年度のインターンシップは8月26日（月）から9月20日（金）の夏季休業中に実施し、この期間に1週間から2週間程度でインターンシップに参加してもらいました。例年よりも夏季休業が1週間ほど短くなっており、学生はインターンシップ先企業を決めるのに少し大変な思いをしていたようです。また、インターンシップへ参加するための準備として、メイクアップセミナーや自己分析セミナーを実施し、事前学習も行いました。

今年度は、インターンシップ履修生36名が県内11社、県外25社でインターンシップに参加し、インターンシップを受け入れて頂いた企業からも

非常に高評価を受けています。インターンシップ終了後、10月9日（水）にインターンシップ報告会を実施し、各自が参加したインターンシップ先企業の概要やインターンシップで取り組んだこと、後輩に伝えたいことなどについてプレゼンテーションを実施してもらいました。また、それぞれの学生が受け入れていただいた企業に対して、感謝の気持ちを込めてお礼状を作成し、それぞれの企業へ送付いたしました。

インターンシップの報告会終了後は、合同業界研究会を中心とした就職活動へと移行していきます。特に12月は3日と11日に合同業界研究会が開催されました。学生は多くの企業の人事担当者から直接お話を伺うことで今後の就職活動の参考になったと思います。

（4年学科副担任インターンシップ担当：伊波 靖）

各学年の話題（5年生）

内定式や卒業研究の中間発表、高専祭が終わり、高専本科も残すところ約2か月となりました。高専期間の友人は一生の友人となることが多く、残りの時間を学友と楽しく過ごして欲しいと思います。また、勉学としては卒業研究が佳境に入りました。高専で学んだ知識と技術の集大成として、卒業研究の時間外にも取り組み始める時期となります。結果の良さは重要ではなく、取り組みそのものに価値があります。ご家庭でも話題にしてみてください。

今年度12月2日現在の進路状況は、就職希望29名の内、28名の内定が決まりました。1名も鋭意活動中です。また、進学希望6名の内、4名が大学編入学や沖縄高専専攻科に合格しました。2名の学生も受検に向けて勉強中です。

残り2か月です。生活の乱れからか欠課数が増加しています。学生生活を大いに楽しんでほしいと思いますが、本業をしっかりとやることで楽しみながらも次の進路への礎となるよう努力も重ねて欲しいと思います。

（5年学科担任：玉城 龍洋）

専攻科の話題

専攻科は本科卒業後の進学先として創設された2年間の教育課程です。この2年間の教育課程は本科における教育の基礎の上に、工学に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、豊かな人間性と国際性を持ち、実践性・創造性を兼ね備える複合領域にも対応できる幅広い視野を身に付ける課程です。

専攻科情報工学コースには、現在、専攻科2年生が4名、1年生が2名在籍しております。1年生は専攻科修了するまでに必要な単位、一般科目8単位以上、専門共通科目34単位以上、専門科目20単位以上について積極的に勉強に取り込んでいます。そして特別研究に関しても8月15日に中間発表を行い、それぞれのこれからの2年間に取り込む研究課題や研究方法および今後の計画を発表した。2年生は昨年から取り込んでいる特別研究の成果を11月7日に中間発表を行いました。教員や友達から受けた質問や研究内容に関する評価・コメントを元に各自研究内容を再確認しながら、これから2月に予定している最終発表や論文執筆にとりかかります。

また、佐藤研究室所属の2年生植竹 蓮が11月20日(水)から22日(金)まで沖縄科学技術大学院大学で開催された国際会議である「The 3rd International Symposium on Swarm Behavior and Bio-Inspired Robotics」において、軍隊アリの群れによる襲撃パターン遷移に関するシミュレーションを研究の成果として口頭発表しました。今後の更なる研究の発展が期待されます。

(情報工学コース副主任：バイティガ ザカリ)

その他学科内の話題

■受賞

- NICT オープンハウス学生ポスターセッション(2019年6月) 奨励賞
上原 すみ加 (2年)

- 高専プログラミングコンテスト(2019年10月)
特別賞：『UniHome』チーム
入江 祐毅 (3年)
備瀬 己智 (2年)
企業賞：『GooTravel』チーム
宮里 颯斗 (5年)
山城 凜 (5年)
上原 すみ加 (2年)
市岡 麻衣 (1年)
- 沖縄デジタル映像祭 2019 (2019年12月)
短編編部門 ティーン賞
冨井 樹 (2年)
- ParadiseJam2019 (2019年12月)
最優秀賞：『ちゅくやっち』チーム
金城 樹里 (5年)
垣花 周 (5年)
伊波 智博 (5年)
OADC賞『ピースイ Dropper!』チーム
伊藝 巧也 (3年)
伊佐 龍拓 (3年)
慶田 神乃恩 (3年)
比嘉 風 (3年)

編集後記

学科だよりも令和元年度で14年目となります。これから令和という新しい時代に向け、学科だよりを通じて学生の様子や学科の取り組みを少しでもお伝えできればと思います。学科だよりに関するご意見ご要望がございましたら、是非下記連絡先までお知らせください。また、学校に対してお持ちの疑問・要望、また他の保護者の方々にも知って欲しいことなどを投書して下さることも大歓迎ですので、是非お気軽にお便りをお寄せ下さい。

編集担当者連絡先：

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905

沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科

金城 篤史

TEL 0980-55-4003 (代) FAX 0980-55-4012 (代)